

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助演習Ⅳ			選択	2	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡邊 典子		講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要		<p><目的> ソーシャルワークの集大成として、マイクロレベル（個人・家族）、メゾレベル（小地域・組織）に加え、地域福祉の基盤整備や開発の対象であるマクロレベル（地域社会・政策）までを視野に入れたソーシャルワーカーとしての援助技術を身に付けることを目的とする。</p> <p><概要> 課題学習、それを基にして双方向型授業を通し、テキストや資料を使いながら、教員と学生相互の応答式にて講義を実施する。アプローチ方法について事例を通して深く理解し、困難ケースに対応できる力を身に付ける。課題についてもフィードバックをする。</p>				
学習上の助言		自分の住む地域の福祉課題について調べてくるとよい。また、地域福祉計画等も最寄りの市町村から提供してもらって欲しい。学生が主体となってグループワーク等を行うことから、学生には積極性と自己覚知を身に付けて授業を受けて欲しい。必要な制度上のことは説明する。				
教科書		ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ /著：川村隆彦/中央法規出版				
参考書		指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	個人や家族等の問題のなかから地域の共通課題を抽出することができる				社・精 (1) (2)	
②	チームアプローチ支援（多職種連携）で課題解決することができる				社・精 (1) (2)	
③	支援困難事例と向き合い、援助の視点と方法を調べることができる				社・精 (1) (2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）			
1	オリエンテーション（指導の進め方、評価に関する説明）・課題を通してソーシャルワーク像が描	同時双方型授業 講義・演習	他己紹介を実施 援助演習Ⅲの振り返り			4
2	ソーシャルワーカーとしての「価値」「倫理」について学習する。	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
3	ソーシャルワーク関連領域の専門性の理解（1）スーパービジョンについてテキストと事前課	同時双方型授業講 義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
4	ソーシャルワーク関連領域の専門性の理解（2）クライアント中心 倫理アプローチを学習す	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
5	ソーシャルワーク関連領域の専門性の理解（3）エコロジカル理論アプローチを学習する。	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
6	ソーシャルワーク関連領域の専門性の理解（3）課題事例を通してナラティブアプローチ支援	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
7	ソーシャルワーク関連領域の専門性の理解（4）ナラティブアプローチ支援を体得し、相談援助	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
8	困難事例への取り組み（1）課題事例を通してホームレス支援、がん宣告を受	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
9	困難事例への取り組み（2）課題事例を通して老人ホーム生活の支援を学習	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
10	行動理論・アプローチの支援（1）事例を通じて応用行動分析を理解し、望ましい計	同時双方型授業 講義・演習	演習テーマに関連する課題に取り組む。			4
11	ソーシャルワークの実践事例（1）個別支援計画の意義と作成方法について学習す	同時双方型授業 講義・演習	「個別支援計画作成」に関するレポート課題に取り組む。			4
12	ソーシャルワークの実践事例（2）個別支援計画を作成する時間を設け意見交換	同時双方型授業 講義・演習	「個別支援計画作成」に関するレポート課題に取り組む。			4
13	地域福祉（1）ネットワーク会議のロールプレイを実施しな	同時双方型授業 講義・演習	「地域福祉」に関する課題に取り組む。			4
14	地域福祉（2）課題事例を通して社会資源の把握、活用、調整、	同時双方型授業 講義・演習	「地域福祉」に関する課題に取り組む。			4
15	事前課題にて総復習を行なう。板橋 JHC の方法で学生ピアカウンセリングを体験する。	同時双方型授業 講義・演習	ピアカウンセリングの支援に取り組む。			4

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	0	10	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	5	0	3	5	13
	思考・推論・創造する力	0	5	0	3	5	13
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	2	10	22
	問題を発見・解決する力	0	15	0	2	15	32
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業期間中に「個別支援計画」(10点)、「障害者や高齢者の冤罪事件などを調べるレポート」(20点)、「授業での学びのふりかえり」(10点)に関するレポート課題を課し、授業で学んだ内容を深めることができているかという観点から評価する(合計40点)。				教員が示した書式にそれぞれの計画や書式について記述し、採点して返す 個別支援計画は模範計画を配布
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	授業期間中に演習テーマに関連する課題への取り組みと提出を求め、提出されたものについて評価する(10点)				教員が示した書式にそれぞれの計画や記述し、採点してフィードバックする
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークへの参加状況(15点)、グループ発表の状況(35点)、授業終了時に記載する授業終了時に記載するクイズをリアクションペーパーに代替えし評価する。(10点)				授業ごとにグループのメンバーを変え、発表者、司会を決めて、グループワークの成熟度を話し合う
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>teams を使った同時双方向型授業を行います。課題のダウンロード、パワーポイントを使った課題の提示を行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえますので、ご承知のほどお願いします。</p> <p>教員の実務経験：社会福祉士を平成 11 年、介護福祉士を平成 12 年、精神保健福祉士を平成 18 年に取得。令和 1 年主任相談支援専門員の資格取得。現場のソーシャルワーカーとしての臨床を継続しつつ、勤講師歴は 14 年となる。</p> <p>実践的授業の内容：今年度から教科書を用いて、援助演習Ⅲで学んだ事例を具体的なアプローチ支援ができるように深める。対象者の全体像を捉え、概念を深く学び、事例から実践を考えるようにアドバイスやスーパーバイズを展開する。教科書だけではなく、教員の実践や事例からも助言する。事例は個人を特定できないように配慮する。</p>							